

県政・経済記者クラブ
文化・教育記者クラブ 同時配布

報道資料

平成26年5月20日

県土マネジメント部まちづくり推進局
奈良公園室奈良公園管理係
主幹 向井一富 係長 中村文男
ダイヤルイン：0742-27-8028
(内線：4306・4301)

春日山原始林の保全対策

春日山原始林は奈良公園の一部であり、原生的状態を維持している貴重な森林として特別天然記念物に指定され、また世界遺産「古都奈良の文化財」の一構成要素でもあります。

しかし近年、将来の原生林構成種が変化していく恐れのあることが明らかになってきました。奈良県では、平成24年度より「春日山原始林保全計画」の策定に着手し、特別天然記念物春日山原始林の保全・再生に向けた取り組みを実証実験として行っているところです。昨年度はナラ枯れ対策、植生保護柵の設置とモニタリング調査を行いました。今年度はこれらの継続実施の他、以下の対策を新たに実施します。

1 ナラ枯れ対策

従来から被害木を中心にビニール被覆を行ってきましたが、今年度は原始林内の大径木を守る目的で予防を強化します。あわせてカシノナガクイムシの駆除措置に取り組みます。

実施内容

(1) 予防の強化

防虫ネット被覆 シイ・カシの大径木 約190本
(春日山原始林内のシイ・カシの大径木全362本^{※1}の約52%)

※1 特別天然記念物春日山原始林全域の、
シイ・カシ類は胸高直径80センチ以上、
その他の広葉樹は胸高直径100センチ以上の樹木本数。

(平成23、24年度 奈良県奈良公園室調べ)

(2) 駆除措置

- ①おとり丸太法
- ②ペットボトルを用いたトラップ

予防措置、駆除措置の内容については

<http://www.pref.nara.jp/secure/119376/06siryou01-3.pdf> p. 78～81 参照。

実施時期 カシノナガキクイムシが飛び立つ時期（主に7月）までに行います。

2 外来樹木の駆除

外来樹種の拡大を抑制する方法、執行体制^{※2}等を検討するための試行実験を進めます。

その内容については

<http://www.pref.nara.jp/secure/119376/06siryou01-3.pdf> p. 53～66 参照。

ナギの駆除試行実験

日時 平成 26 年 5 月 25 日（日）13 時～16 時

場所 春日山 9 林班

※2 春日山原始林を未来へつなぐ会の
設立について

奈良公園観光地域活性化基金への登録と併
せて、6 月中旬を目途に設立予定。



【5/25 ナギの駆除試行実験 現地取材の注意とお願い】

○取材される場合は、

13時10分 春日山遊歩道(南)入り口(飛鳥中学校正門近く) に集合してください。
現地ですぐに駆除作業に入れるとは限りませんが、原始林内に立ち入るため、入山から一緒に行動していただきます。



○「ヘルメット」と「自社腕章」の装着をお願いします。ヒルが出る可能性がありますので服装等にご留意ください。

○原始林内への立ち入りは実施場所及びそこへの往復経路に限定します。